

学校だより

埼玉大学教育学部附属特別支援学校
令和3年度 学校通信 No.9
令和4年 1月 7日



「新年を迎えて 穏やかな日々を願いながら」

副校長 池澤 健

新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

皆様はこの年末年始をどのようにお過ごしでしたでしょうか。私は2年ぶりに、義理の父母に会ってまいりました。2年前は、新型コロナウイルス発生の知らせが、まだ遠い海外のニュースの一つだったことを思い出します。当時の私たちは、その後自分たちに起きる大きな変化をまだ知りませんでした。

その令和2年の春、突然に全国の学校が臨時休業を余儀なくされる事態となり、続く令和3年も度重なる波が押し寄せ、社会全体がこのウイルスに苦しめられました。多くの命が失われ、快復後も後遺症に苦しんでいる方がいらっしゃいます。

しかし年末にかけて、医療関係者をはじめとする人々の努力やワクチン接種の拡大などにより、急速に感染状況は落ち着きました。多くの皆様が、この年末年始を穏やかに迎えることができたのではないのでしょうか。

ただし世界に目を向けると、現在ヨーロッパやアメリカでは感染拡大が過去最大レベルに達していますし、新興国においても新型コロナの影響は深刻で、半導体の生産に代表される様々な産業が滞った状態です。前号でお伝えいたしましたが、遠く離れた本校の体育館改修工事にも影響が及んでいます。グローバル化社会と言われて久しいですが、このウイルスの前では、私たちが小さな地球の上で生活していることを痛感します。

また国内でも、年末年始を経てオミクロン株の市中感染や感染者の急速な増加のニュースが続いています。私たちも第6波への備えと覚悟が必要です。

そもそも私たち人間は、人と人の間で生きる社会的な存在です。家族や友人の互いの無事や健康を確かめ合い、子供たちの成長を喜び合って、幸せを感じる心を持っています。これは、世界がどう変わろうとも、決して変わらない人間の持って生まれた心だと思えます。

新年を迎え、穏やかな日々が続くことを願いますが、私たちはまだ、予防や対策を続けていかなければならないようです。そのような中でも、学校として教育活動を守り、人々と社会の中で子供たちの心を育てていくことを続けていきたいと考えております。その都度状況に応じた対応を行ってまいりますので、保護者の皆様、関係の皆様には御不便をおかけすることもあるかと思いますが、どうか御理解御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

山中湖から富士を眺める



お知らせ

【後期教育実習について】

本日1月7日(金)より後期教育実習が開始となります。教育実習生については今回も新型コロナウイルスのPCR検査を実施し、陰性であることを確認してから児童生徒の指導にあたります。感染対策には十分留意して実施いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【保護者説明会について】

1月24日(月)の保護者説明会への御参加よろしくお願いいたします。

〈小学部:臨床センター講義室〉 〈中学部:音楽室〉 〈高等部:軽作業室〉

にて、分散実施といたします。各会場11:10開始です。オンライン参加希望の方には参加票記載のメールアドレス宛にミーティングID及びパスワードを送信します。よろしくお願いいたします。

【学校評価アンケート等について】

本日締め切りの「学校評価アンケート」並びに「いじめ・体罰アンケート」への御協力、ありがとうございました。未提出の方はすみやかに御提出をお願いいたします。

本校協力の取組が紹介されました

ハノイ日本人学校への特別支援教育遠隔支援

本校及び附属特別支援教育臨床研究センターで協力している事業が、12月13日付の日本教育新聞に掲載されました。

本事業は、海外子女教育財団が国立特別支援教育総合研究所と協力し実施している日本人学校への特別支援教育のサポート体制づくりを研究する事業です。

本校はセンター的機能の一環としてこの事業に協力し、昨年度よりベトナムのハノイ日本人学校への遠隔支援を行っており、11月には国内外の関係者に発信された本事業の報告会に参加させていただきました。多くのニーズのある取組で、今後の展開については、本研究の成果や課題を踏まえて検討がなされています。



なおハノイ日本人学校では、新型コロナウイルス感染防止のため年度初めよりずっと子供たちが登校できず、オンライン授業が続いています。一日も早い収束を願います。

